

第61回「郷土のお祭の絵」展表彰式



平成25年12月21日、熱田神宮文化殿にて愛知県神社庁主催第61回「郷土のお祭の絵」展表彰式が開催されました。同展は郷土の歴史・文化を伝承する祭りや地域に根ざした伝統行事を題材としており、幼稚園・保育園児、小学生、中学生の作品が県内各地より出展されました。応募総数は、絵画の部、絵馬の部あわせて2,841点を数えました。

当日は入賞した子どもたちを含めて200人の参加があり、式の冒頭、三浦正典教化常任委員長より表彰式に参加いただいた方々へお礼を述べるとともに「祭りの絵によってお祭りの大切さを伝えることは重要であり、来年、再来年以降も是非応募していただきたい」と挨拶、ついで審査員を代表して兵藤寛司氏から入賞者作品の解説があった後、「書く子が真剣に書いている様子が伝わる作品が印象に残る」とし、保護者の方々へは「幼児や小・中学生のときに参加する、お祭りの場へ連れて行き、踊りなどを見る、周りの人と一緒に参加するなど、経験することをたくさん積むことでよい絵となるだけでなく、人生の基となる」との言葉がありました。表彰式では神社本庁統理賞を受賞した酒井りなさん（名古屋市立見付小学校6年）始め428名の受賞者に、表彰状と記念品が授与されました。